



カケハシ・プロジェクト（派遣プログラム）の記録 対象：カケハシ・イノウエ 派遣 第2陣

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として米国へ日本の大学生および引率者計 21 名が派遣され、日本の政治、経済、社会、文化、歴史に関する理解促進や日本の魅力等の積極的な発信を目指し、2020 年 2 月 23 日～3 月 1 日の日程でプログラムを実施しました。

一行は、学校交流で日本の魅力紹介プレゼンテーション及び実演を行い、視察先では米国や日米両国の関係について理解を深めました。プログラム中、各々の関心事項や体験について SNS を通じて積極的に对外発信を行いました。また帰国前の報告会では、訪米経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加団体・人数】

立命館大学：19 名（大学生）・2 名（引率者）

【訪問地】

ハワイ州

2. 日程

2/23(日)	【到着】 【視察】ホノルル市内（ビショップ博物館、ヌアヌパリ展望台、イオラニ宮殿、ダイヤモンドヘッド展望等） 【オリエンテーション】
2/24(月)	【視察】ホノルル市内 【視察】パールハーバー（戦艦ミズーリ記念館、ビジターセンター）
2/25(火)	【表敬訪問】在ホノルル日本国総領事館 【企業訪問】オースチン・ツツミ・アンド・アソシエイツ 【講義】ホノルル広島県人会理事 ブランドン・三枝 氏
2/26(水)	【学校交流】カラニ高校 【体験】就職フェア（於：ハワイ大学マノア校） 【視察】アロハ・タワー
2/27(木)	【企業訪問】伊藤園 【視察】ハワイ日本文化センター（JCCH） 【ワークショップ（報告会準備）】
2/28(金)	【成果報告会】 【視察】ハワイ大学マノア校

2/29(土)	【出発】
3/1(日)	【到着】

3. プログラム記録写真



2/24【視察】パールハーバー（戦艦ミズーリ記念館、ビジターセンター）



2/25【表敬訪問】在ホノルル日本国総領事館



2/25【講義】ホノルル広島県人会理事 ブランドン・三枝 氏



2/26【体験】就職フェア（於：ハワイ大学マノア校）



2/27【企業訪問】伊藤園



2/28【視察】ハワイ大学マノア校

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 初日、展望台を訪れ、ハワイの大自然と美しさに感動しました。パールハーバーを訪れた際は、戦艦ミズーリを見学しました。戦艦ミズーリは最近まで実際に使われていたことを知り、驚きました。特にロケットと同じくらいの重量を持つ主砲はその大きさ

と威力に対し、印象が残りました。表敬訪問では、領事館の中にお雛様が飾ってあるのを見て、ハワイでも日本の文化が大切にされていることに大きな印象を受けました。特にハワイの日系人は日本の文化を非常に大事にしているということを感じました。土木系企業のオースチン・ツツミ・アンド・アソシエイツは、大学で勉強している土木の分野に精通する企業であり、非常に興味深い話を聞くことができました。今後の課題や目標について改めて考える機会を持つことができ、良かったです。企業側からのプレゼンテーションの中でもっとも印象に残った言葉が「技術よりコミュニケーション」という言葉です。技術者として、技術力を磨くことはもちろん重要ですが、人々が幸せに暮らせるように役に立つためには、まずコミュニケーションをとることが大切であると学びました。カラニ高校との交流会では、日本文化について紹介し、現地の学生が非常に興味を持ってくれたことが印象に残りました。また、何日もかけてプレゼンの内容を考えてきた成果を感じることができました。伊藤園では、日本ではお茶を飲む習慣がありますが、甘いものが好まれるアメリカで、日本のお茶を、味を変えずに販売し続けようとする姿勢がとても印象に残りました。今回、このカケハシ・プロジェクトで様々な場所を訪れましたが、どこを訪れても文化や歴史を大切にしようという熱意が感じられました。特に、戦艦ミズーリを訪れた際に、歴史をアメリカと日本の両面から見るのが、本当の歴史を学習する上で重要であると学びました。このことから、自分の考えだけでなく様々な面から物事を捉えることが、何事に対して大切であると感じました。

◆ 私が今回のプログラムで最も印象的だったことは、ハワイ大学へ訪れ、研究室の見学をしたことです。私の専攻が、理工学部ロボティクス学科ということもあり、専門分野の研究にとっても興味がわきました。プレゼンテーションをしてくださった際には、新たに学べたことが多かったです。将来やりたいことが明確ではない私にとっては、深く考えさせられる良い機会となりました。現地の方と交流する場が多かったことも、印象的でした。ハワイ・パシフィック大学の学生と交流ができなかったことは心残りでしたが、たくさんの方のご厚意により、現地の高校生と交流することができました。日本文化の体験型プレゼンテーションをし、高校生に興味をもってもらえた瞬間、日本文化の素晴らしさに改めて気づくことができました。企業訪問では、会社員の方々に「海外で働くことにやりがいを感じる」という話を伺いました。皆さんが興味のある分野を仕事にし、且つ海外で立派に働いておられる姿勢を実際に見ることができ、憧れの気持ちを抱きました。海外で働くということは、現地の人々とのコミュニケーションが重要であり、それと同時に自国とのカケハシとなれることを学ぶことができ、海外で働くという新しい目標が持てました。約1週間、ハワイでしか学べないことを毎日吸収できたと思います。この貴重な経験を無駄にしないよう、日々努力を続けたいです。いつか、日本と海外とのカケハシになれるような人になりたいです。

◆ 観光だけでは感じる事のできないハワイの歴史やハワイと日本のつながりについて学ぶことができました。ハワイで日本人が歓迎される理由の一つとして、これまでに多くの日系人の方が努力して、ハワイに貢献してきたということを知りました。パールハーバー訪問では第二次世界大戦のことや戦艦ミズーリの歴史について学びました。戦争を全く知らない世代ですが、過去を知ることで世界を知ることができると感じこれから歴史を学んでいこうと思いました。大学訪問では、日本とハワイの大学の教育システ

ムの違いやハワイの学生生活を知ることができてよかったです。研究室訪問では、英語での説明でしたが、理解できる内容もあったので嬉しかったです。カケハシ・プロジェクトを通してまだまだ英語を勉強していく必要があると感じました。1週間で得た経験をこれからの学生生活に活かしていこうと思います。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 学校交流参加学生（カラニ高校）

英語のコミュニケーションのため立命館大学の学生が気をつけて一生懸命しゃべってくれているのがよくわかりました。楽しい時間でした。

◆ 学校交流参加学生（カラニ高校）

体験型のプレゼンテーションが特によかったです。盆踊りを通じて日本文化を学ぶことができました。

◆ 学校交流参加学生（ハワイ大学マノア校）

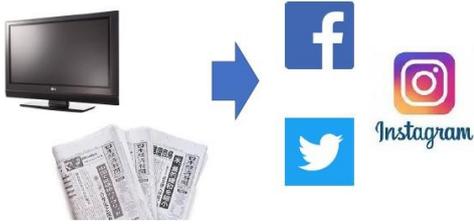
同じ理工学部である立命館の学生は、研究室の実験設備に高い関心を示してくれました。

6. 参加者の対外発信

 <p>朝は日本国領事館にいきました。入り口を入るとお雛様が飾ってあり、ハワイで日本らしさを感じることができました。その後、ハワイの土木会社である、ATA(Austin Tsutsumi and associates)に訪れました。そこで、現在の主な仕事や、問題点を学びました。ATAからのプレゼンは「探検よりコミュニケーション」という言葉です。訪問者になるには、もちろん技術も必要ですが、コミュニケーションが重要であると学びました。午後は、ブランドンさん家とMakapu'u Lighthouse Trailにて、散歩をしました。山の頂上でブランドンさんから、日本人についての心遣やプライドを学びました。夜は、中華料理でした〜。雨が降っていたのでお昼の名前を聞けなかったのが残念ですが美味しくかったです。#立命カケハシ #カケハシプロジェクト #ハワイ #日本国領事館 #日本人形 #ata #ホエールウォッチング #マカプートルール #makapuulighthouse #中国料理</p>	 <p>みんな発表お疲れ様でした。海外の同年代の学生にどうやったら楽しんでもらえるか考えながら準備するのは貴重な体験でした。集まった初日に丸一日かけて準備したプレゼンがほとんど内容変更、前日に尺の調整とかハプニングはいろいろありましたが、本当に全員で出来なかったことが残念。みんなが元気になってくれることを願ってます。#hawaii #honolulu #ritsカケハシ #ハワイ留学 #カケハシプロジェクト</p>
<p>カケハシ・プロジェクトについての発信 (Instagram)</p> <p>朝は日本国領事館にいきました。入り口を入るとお雛様が飾ってあり、ハワイで日本らしさを感じることができました。その後、ハワイの土木会社である、オースチン・ツツミ・アンド・アソシエイツ (ATA) を訪れました。そこで、現在の主な仕事や、問題点を学びました。ATAからのプレ</p>	<p>カケハシ・プロジェクトについての発信 (Instagram)</p> <p>みんな発表お疲れ様でした。海外の同年代の学生にどうやったら楽しんでもらえるか考えながら準備するのは貴重な体験でした。集まった初日に丸一日かけて準備したプレゼンテーションがほとんど内容変更となり、前日に尺の調整などハプニングはいろいろありましたが、本当に</p>

<p>ゼンの中で最も印象に残った言葉は「技術よりもコミュニケーション」という言葉です。技術者になるには、もちろん技術も必要ですが、コミュニケーションが重要であると学びました。午後は、ブランドンさん家族とマカプウ・ライトハウス・トレイルにて、散歩をしました。山の頂上でブランドン・三枝さんから、日系人についての心情やプライドを学びました。夜は、中華料理でした。雨が降っていたのでお店の名前を撮れなかったのが残念ですが美味しかったです。</p>	<p>楽しかったです。全員で参加できなかったことが残念でした。みんなが元気になってくれることを願っています。</p>
--	--

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

<p>How to advertise...</p> 	<p>good for environment</p> <p>Osaka・Nanba</p> <p>Waikiki</p> 
<p>アクション・プランの発表（グループ1） 来年度の交流の計画として訪日団を今回参加した私たちが日本を案内し、その様子をSNSに投稿する。相互で投稿することにより日本の良さを知ってもらう。</p>	<p>アクション・プランの発表（グループ2） 日本の魅力や海外と日本の関係性についての若者に向けた発信を心がけ、興味をもってもらう。プログラム中の投稿で終わらせず、継続的な投稿をする。</p>